

No. 1663

# 新春の天皇御一家

平成5年の新春を迎えた天皇御一家。御一家の人気の的は秋篠宮御夫妻の一歳をすぎた眞子様。可愛い仕種でお茶目ぶりを発揮しています。天皇皇后両陛下には今年も6月にヨーロッパ親善旅行が予定されています。皇太子たる殿下、紀宮様の結婚問題など今年も話題のたえない天皇御一家です。

# 宮沢改造内閣スタート

第二次宮沢内閣の組閣が12月11日首相官邸で宮沢首相を中心に自民党の梶山幹事長、佐藤総務会長、三塚政調会長の新三役が集まり閣僚人事に着手。一時間後、記者会見室で新しく就任した河野官房長官から閣僚名簿が発表されました。副総理格で留任した渡辺外務大臣。政治改革に意欲を見せる後藤田法務大臣。「省益より国益を」と張り切る小泉郵政大臣戦後では最年少閣僚の船田経企庁長官。女性重視の立場から森山文部大臣が誕生しました。翌12日初閣議の後ひな段での記念写真撮影にのぞむ新聞僚たち。しかし佐川急便問題をはじめ国民の政治不信の高まる中、宮沢改造内閣にとって厳しいスタートになったようです。

# サンパウロ 世界一

—— トヨタカップ ——

サッカークラブチーム世界一決定戦「第13回トヨタカップ」が12月13日国立競技場に6万人の観衆を集めて行われました。

欧州代表スペインのFCバルセロナがゲーム開始直後から南米代表ブラジルのサンパウロFC陣内に攻めこみます。

12分スペインリーグの得点王スイッチコフ選手が20メートルのシュートを決め1対0とリード。

しかし一週間前に来日して必勝を期すサンパウロは27分ミューレ選手の絶妙なフェイントからのセンタリングをライー選手がダイビングボディーシュートを決め同点。1対1で前半を終了。

後半はリズムにのったサンパウロがブラジルサッカーの威信を取り戻したいと意欲的な攻撃を見せバルセロナ・ゴールを脅かします。34分正面からのフリーキックを再びライー選手が左サイドにクリーンシュート。

結局2対1でサンパウロが南米に4年ぶり、ブラジルチームにとって9年ぶり3度目のトヨタカップを獲得。世界一の栄冠に輝きました。